

—市政の発展に貢献された個人・団体を表彰— 令和元年度市政功労者表彰式

年頭のごあいさつ



本庄市長 吉田 信解

新年明けましておめでとうございます。令和2年の輝かしい新春をご健勝にてお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、本市ではさまざまな話題がありました。

まず5月には、天皇陛下御即位を祝う「改元奉祝の集い」が実行委員会によるご尽力のもと開催されました。本庄まつりで巡行する山車10基によるお囃子とこだま夏まつりで行する神輿4基による勇壮な組合いが披露され、伝統文化の初共演を一目見ようと、多くの人で賑わいました。

7月には、駐日トルコ大使夫人が来訪、中央小でトルコ料理の給食と一緒に召し上がられたほか、保育園児との盆踊り体験や機織り体験など、市民との交流が図られました。ブラインドサッカー・トルコ代表チームの東京パラリンピック出場は惜しくも叶いませんでしたが、その他、トルコ語講座や料理教室の開催、トルコ文化等の周知など、ホストタウンとしてさまざまな事業を実施しました。

6月、交通安全知識や正しい自転車の乗り方を競う、交通安全子供自転車埼玉県大会にて、本庄東小が団

体の部で連覇を果たし、中央小が第3位に輝きました。さらに個人の部でも、東小6年生児童が優勝、また、2位から4位も東小児童が占めるといふ、素晴らしい成績を収められました。さらに8月の全国大会では、東小が団体・個人ともに県勢初の全国優勝を果たすという偉業を成し遂げました。昨年の悔しさを晴らすため、懸命に努力したその姿勢は、広く市民に感動を与えました。

その他「NEXT商店街プロジェクト」の一環でおこなう、まちゼミ、ほんじょうマルシェや本庄暮らし会議、さらに、観光資源を体験型へとプログラム化した「本庄すまいる日和」など、市民が中心となり、さまざまなまちづくりが多く展開され、市民一人ひとりの熱意がほとばしり、躍動する姿が強く印象に残る一年となりました。

一方で、10月、台風19号が関東を直撃、市内でも土砂崩れや床上浸水、住宅の損壊など、自然災害の恐ろしさを肌を感じる一年となりました。さて本年は、56年ぶりに日本でオリンピックが開催されます。開会式に向けて、徐々に鼓動が高まる中で、本市でもさまざまな催しが予定され

ております。春には、「本庄早稲田の杜ミュージアム」が早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター内にオープンします。本市と早稲田大学とが連携し、双方の考古資料等文化財を展示するほか、市の魅力を外に発信する文化の拠点となります。また、6月頃には、本庄駅南口のインフォメーションセンターがグランドオープンします。すでに多くの人で賑わう新たな観光物産品販売所のほか、カフェレストランやスタジオ、赤ちゃんの駅の新設、トイレもリニューアルされ、人々を迎える「まちの顔」にふさわしい空間へと生まれ変わります。そして、オリンピック開会式が迫る、7月9日には、はにぼんプラザを出発地とする聖火リレーが行われます。

本年も「世のため、後のため」、これまでの取り組みにさらなるチャレンジを重ね、持続可能な市政の進展に全力を傾注してまいります。どうぞ皆さまの、より一層のお力添えをいただきたくよろしくお願い申し上げます。

皆さまのご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

本庄市市政功労者表彰式



市では、市民の生活・文化の向上や社会福祉の増進など、市政に対して特に功労があり、他の模範となる人を表彰しています。11月22日に市役所で、市政の発展に貢献されたみなさんに市長が表彰状を手渡しました。

受賞者（敬称略・受賞者名簿順）

自治功労

- 荒井 克巳 (見福)
- 齋藤 康雄 (児玉町八幡山)
- 筑紫 善一朗 (児玉町児玉)

環境衛生功労

- 片桐 正富 (児玉町太駄)
- 榊田 義夫 (栄)
- 平野 辰雄 (児玉町児玉)
- 眞部 修二 (児玉町児玉)
- 丸山 勇 (小島南)
- 宮崎 秀夫 (前原)
- 赤城乳業株式会社 (深谷市)

消防防災功労

- 大井 博司 (児玉町児玉)
- 田村 正仁 (児玉町金屋)
- 中林 久仁 (児玉町児玉南)
- 星野 昌宏 (児玉町宮内)

社会福祉功労

- 遠藤 美奈子 (駅南)
- 齋藤 京子 (日の出)
- 種村 朋文 (前原)

- 中嶋 恭子 (若泉)
- 金子 章 (日の出)
- 木村 臣良 (児玉町児玉)

教育文化功労

- 井上 健治 (北堀)

産業功労

- 清水 茂則 (児玉町宮内)
- 武政 恒雄 (児玉町児玉)
- 福島 清次 (児玉町小平)
- 坂上 佳久 (田中)

市の公益功労

- 本庄ロータリークラブ (駅南)

特別功労

- 清水 日乃 (日の出)
- 本庄市立本庄東小学校 (日の出)



▲受賞者を代表して謝辞を述べる齋藤雄氏。

※ご本人の希望により1名のお名前の公表を控えています。